

公認プール測量結果一覧表（鋼巻尺用）

様式 23-4の2

1. プールの名称

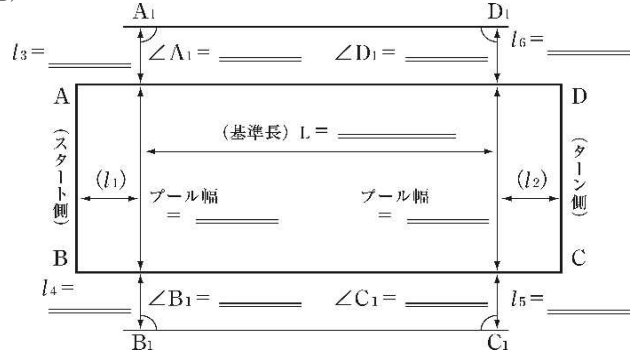
2. 測量条件 日時 20 年 月 日 時～ 時

天気 気温 (T) ℃
鋼巻尺の日本水泳連盟登録番号 (C0=)

加盟団体名	
公認測量者署名	印

3. 基準点、寸法および四隅の角度（二重アンダーライン上に数値を記入すること）

- ① A₁D₁ (=B₁C₁) の測定値=24.600m
(50mプールにあっては49.600m) (実施要領 2-③参照)
- ② A₁D₁ (℃) =
C_p = (A₁D₁ + B₁C₁) / 2β (P-P₀) =
C_t = (A₁D₁ + B₁C₁) / 2α (T-T₀) =
基準長L = (A₁D₁ + B₁C₁) / 2 + C_p + C₁ + C_t = _____ m
C_p: 張力による補正值 (m) P: 測定時の張力 (kg)
P₀: 指定張力 C_t: 温度による補正值 (m)
α: 使用する鋼巻尺の膨張係数 T: 測定時の気温 (℃)
β: 使用する鋼巻尺の張力補正係数
T₀: 使用する鋼巻尺固有の標準温度
C₁: 器差による補正值



③ l₁, l₂ の計算

(スタート側) l₁ = $\frac{l_1 \text{の総計}}{3 \times \text{レーン数}}$ = _____ = _____

(ターン側) l₂ = $\frac{l_2 \text{の総計}}{3 \times \text{レーン数}}$ = _____ = _____

④ 四隅の角度

測角点	角度 (° ' ")
∠A ₁	
∠B ₁	
∠C ₁	
∠D ₁	

⑤ プール長（各コースごとのl₁およびl₂のそれぞれの最大値に○、最小値に△をつけること。赤色マーク）

測定点①のL+l₁+l₂はターン側にスタート台がある場合は、25.000m～25.010mまたは50.000m～50.010mとなる。

なお、タッチ板を付けないターン側スタート台は端壁より突き出さない

レーン	測定点	スタート側		ターン側		L+l ₁ +l ₂	レーン	測定点	スタート側		ターン側		L+l ₁ +l ₂
		l ₁	l ₁ -l ₁	l ₂	l ₂ -l ₂				l ₁	l ₁ -l ₁	l ₂	l ₂ -l ₂	
0	①						5	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=							最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=					
1	①						6	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=							最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=					
2	①						7	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=							最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=					
3	①						8	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=							最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=					
4	①						9	①					
	②							②					
	③							③					
	④							④					
	最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=							最凸部のl ₁ +③のl ₂ +L=					